

令和4年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」
「京都観光復活に寄与する観光人材のための産学連携リスタートプログラムの
開発・実証事業」

成果報告書

令和5年2月

学校法人 大和学園
京都ホテル観光ブライダル専門学校

taiwa
THE ACADEMY OF HOSPITALITY

目次

1. 事業概要

- 1. 1－事業の趣旨・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 1. 2－実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 1. 3－全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 1. 4－協力機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 1. 5－メンバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

2. 事業成果について

- 2. 1－会議体について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 2. 2－オンラインコンテンツ制作について・・・・・・・・ P 8
- 2. 3－マーケティング活動について・・・・・・・・・・ P 9
- 2. 4－シンポジウムの開催について・・・・・・・・・・ P 10
- 2. 5－受講オリエンテーションの実施について・・ P 13
- 2. 6－リカレント教育オンラインプログラムの展開について・・ P 13
- 2. 7－現地説明会の開催について・・・・・・・・・・ P 17
- 2. 8－先行事例調査について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 18

3. 次年度に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 19

1. 事業概要

1. 1 事業の趣旨・目的

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、インバウンド観光客はほぼゼロになる、国内観光客も”Go To トラベル”の効果もあり持ちこたえているものの、多くの観光事業所が苦しい経営状態に直面し、これまでの京都観光にはない未曾有の事態となっている。しかしながら、現在のところ、国内外を問わず、観光意欲の低下は見られる一方で、コア層を中心に観光したい、外食したいという「京都ファン」の層は、今後日を迫って増えていくことが十分考えられる。この層のニーズに対して、期待を裏切らないサービスと新しい観光スタイルの提案、受け入れ体制を適合していくことが大切であり、そのための人材育成プログラムの整備も必要不可欠である。さらに、京都という地域に目を向けると、欧米で権威あるデスティネーションの人気ランキングであるトラベルアンドレジャー誌ランキングで9年連続トップ10入り、英国ワンダラスト誌ランキングでは昨年1位に輝き、今もなお世界基準で質の高いホテルが相次いで京都に進出、アマンリゾートや、パークハイアット、ホテル青龍、エースホテルが開業するなど、観光業で働く人材の確保とスキルアップが、特に京都の地にとっては重要になっている。さらに、POST コロナを見据えて、京都観光と文化の共存、量から質への転換、旅の本質を追求する視点に重きを置いた人材育成も必要であり、そうした人材が活躍する観光業界こそが京都の暮らしの文化や地域コミュニティの発展と継承に相互に作用すると言っても過言ではない。今回の事業を通じて、特に学び直しの環境が整っていない就職氷河期を対象とし、POST コロナ時代の京都観光を担うに相応しい人材を養成すべく、京都の英知を結集したオリジナルで実効性の高いリカレント教育プログラムを開発、実証する。

現在インバウンド需要はほとんどないとはいえ、国内観光客が京都に戻りつつあり、京都観光の回復に向けた足どりも感じられるというのが京都府・京都市の観光行政の関係者の意見である。こうした流れの中で、本学の人材育成プログラムが、観光業界の復活に寄与する。

1. 2－実施体制

事業運営委員会、カリキュラム検討委員会、産学連携推進委員会を有機的に連動させ、プロジェクトを推進した。各委員会の個別の役割は以下の通りとした。

①事業運営委員会

事業開始から終了まで事業全般のコーディネートを行う。また、各委員会との連携や事業全体の予算の執行状況について進捗を管理し、プロジェクトをとりまとめる。

②カリキュラム検討委員会

カリキュラム検討委員会を設置し、産学連携による「学び直しリスタートプログラム」の開発・実証に向けた事項を検討する。招聘する企業の委員については、実際にコロナ禍において先進的な取り組みを経て、観光客の取り込みに成功している企業や、就職氷河期世代はもとより、従業員教育の先進的な取り組みを行っている企業を中心に委員として招聘する。カリキュラム検討委員会では、就職氷河期世代をターゲットにしたリカレント教育プログラムに関して具体的な教育の枠組みについて議論を深めるとともに、POST コロナを見据えた観光人材の育成・スキルアップに対する意見を幅広く委員会で集約し、それらの意見を具体的にカリキュラムへ反映する。また、行政から京都府・京都市の観光政策に携わる委員を招聘することで、京都府・京都市の地域社会が抱える観光業の課題解決につながる独自のカリキュラム開発を行う。

③産学連携推進委員会

外部の有識者、企業・団体等で構成する産学連携委員会を立ち上げ、教育コンテンツの実証後に産学連携委員会を開催、プログラムの評価・改善につなげる。京都府観光連盟や京都市からも参画を依頼することで、京都府・京都市の観光業界の人材育成、業界発展に寄与するプログラムを策定する一助とする。

1. 3ー全体スケジュール（令和4年度）

※期間：令和4年6月～令和5年2月

a.会議体について

- ・事業運営委員会の開催(6/21,7/19,8/26,9/27,10/25,11/22,12/20,1/20)
- ・カリキュラム検討委員会の開催（7/28,2/2）
- ・産学連携推進委員会の開催（7/28,2/2）

b.プロジェクト概要

本プロジェクトは、短期間で学び直しを実現する就職氷河期世代を主にターゲットとしたリカレント教育プログラムの開発及びそれらの実証実験である。令和4年度については、第2期プログラム開講（令和5年1～2月）を中心に、動画コンテンツの制作（12本分）や、受講生募集用ホームページの更新と運用、プロジェクト広報のシンポジウム（ウェビナー）開催などに注力し、事業を運営した。

【プロジェクト項目】

- ・第2期プログラムの開講（令和5年1～2月）
（企業・大学・行政と連携し、オンラインプログラムを開発）
- ・動画コンテンツ制作
オンラインコンテンツについては21本分の動画を制作
（演習編12本、講義編9本）
- ・ウェビナー開催
プログラム公開シンポジウムを開催（令和4年10月）
- ・受講生募集
受講生募集用ホームページの更新・運用
- ・現地説明会開催
京都府宮津市、および福知山市内でリカレント教育説明会を実施
- ・先行事例調査、出張リカレント事業の実施

※プロジェクトに関する協力体制やそれぞれの具体的な成果については後述。

1. 4－協力機関（令和4年度）

	名称	役割等	都道府県名
1	学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校	事業運営全般、教育プログラム開発、実証協力	京都府
2	学校法人大和学園 法人事務局	事業統括、事業運営全般、教育プログラム開発	京都府
3	京都大学経営管理大学院	教育プログラム開発	京都府
4	立命館大学大学院経営管理研究科	外部評価	京都府
5	株式会社ブライトンコーポレーション	教育プログラム開発	京都府
6	びわ湖大津プリンスホテル	教育プログラム開発	滋賀県
7	株式会社 JTB 京都支店	教育プログラム開発	京都府
8	三井不動産リゾートマネジメント株式会社	教育プログラム開発	京都府
9	株式会社クラウドディアコスチュームサービス	外部評価	大阪府
10	株式会社ジェイアール西日本ホテル開発	外部評価	京都府
11	公益社団法人 京都府観光連盟	外部評価	京都府
12	京都市観光 MICE 推進室	外部評価	京都府

1. 5－メンバー一覧【敬称略】

一学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校

田中 幹人 学校法人大和学園 副理事長（京都ホテル観光ブライダル専門学校校長）
 作岡 友樹 学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校 校長代行
 奥山 勉 学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校 副校長
 杉山 洋 学校法人大和学園 法人事務局 総務・経営 DX 推進グループ部長
 畑中 久美子 学校法人大和学園 法人事務局 総務・経営 DX 推進グループ次長
 高岡 良明 学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校 教務部長
 安部 典子 学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校 教務部主任
 辻 智子 京都ホテル観光ブライダル専門学校 就職部長
 金子 貴行 京都ホテル観光ブライダル専門学校 ホテル学科

一カリキュラム検討委員会

國府 昭義 三井不動産リゾートマネジメント株式会社
 HOTEL THE MITSUI KYOTO 副総支配人兼人材開発部長
 篠崎 慶政 株式会社 JTB 京都支店 営業二課長
 林 恵子 株式会社ブライトンコーポレーション 京都ブライトンホテル
 総支配人室ブランドコミュニケーション担当支配人
 松本 伸夫 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド 執行役員
 西日本クラスター総支配人 兼 びわ湖大津プリンスホテル総支配人
 若林 直樹 京都大学経営管理大学院 教授

一産学連携推進委員会

佐藤 伸二 株式会社ジェイアール西日本ホテル開発 常務取締役
 ホテルグランヴィア京都 総支配人
 肥塚 浩 立命館大学大学院経営管理研究科 研究科長
 後藤 英之 公益社団法人 京都府観光連盟 専務理事
 秋山 正俊 京都市産業観光局 観光 MICE 推進室長

2. 事業成果について

2. 1 一会議体について

a. 事業運営委員会

第1回日時：2022/6/21 9:30-10:30

参加者 8名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（アドバンス編）
協議 3. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作

第2回日時：2022/7/19 15:00-16:00

参加者 9名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（ステップアップ編）
協議 3. シンポジウムの開催
協議 4. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作

第3回日時：2022/8/26 15:30-16:30

参加者 9名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（ステップアップ編）
協議 3. シンポジウムの開催
協議 4. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作

第4回日時：2022/9/27 13:30-14:30

参加者 8名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（ステップアップ編）
協議 3. シンポジウムの開催
協議 4. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作
報告 1. 「専修学校リカレント教育推進事業（2023年度）」

第5回日時：2022/10/25 14:30-15:15

参加者 8名

- <議題> 協議 1. 2022年度プロジェクトの進捗状況

第6回日時：2022/11/22 15:30-16:00

参加者 8名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（ステップアップ編）
協議 3. 成果報告シンポジウムについて
協議 4. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作

第7回日時：2022/12/20 14:00-14:30

参加者 8名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（ステップアップ編）
協議 3. 成果報告シンポジウムについて
協議 4. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作

第8回日時：2023/1/20 11:15-11:45

参加者 8名

- <議題> 協議 1. 先行事例調査の実施
協議 2. 第2期プログラムの開講（ステップアップ編）
協議 3. 成果報告シンポジウムについて
協議 4. 動画コンテンツ（演習編、講義編）の制作

b. カリキュラム検討委員会

c. 産学連携推進委員会（合同会議）

1回目日時：2022/7/28 17:00-18:00

参加者：16名

- 議題：（1）2021 年度成果報告及び2022 年度プロジェクト
（2）第2期リカレント教育プログラム



2 回目日時：2023/2/2 17:00-18:00

参加者：14 名

議題：(1) 事業の成果について

(2) 今後のリカレント教育事業に向けて



2. 2-オンラインコンテンツ制作について

a. 動画コンテンツ制作

オンラインコンテンツについては 21 本分の動画を制作した。

動画制作を行うにあたっては、台本を制作し、映像制作会社と連携し、学習者目線に立った学習のポイントをナレーションやテロップを組み合わせるべく、綿密な準備を行った。

なお、動画については演習編と講義編の 2 パターンに分けて制作した。

<動画作成リスト>



演習編

- ・非対面（電話）での対応：ホテルまでのアクセス（オペレーター）NG 編
- ・非対面（電話）での対応：ホテルまでのアクセス（オペレーター）OK 編
- ・非対面（電話）での売上向上のアプローチ：予約受付時（予約係）NG 編
- ・非対面（電話）での売上向上のアプローチ：予約受付時（予約係）OK 編
- ・チームワークと連携：バゲッジダウンの対応（ベルキャプテン）NG 編
- ・チームワークと連携：バゲッジダウンの対応（ベルキャプテン）OK 編
- ・ホテル館内案内と対応：館内の問い合わせ（インフォメーション）NG 編
- ・ホテル館内案内と対応：館内の問い合わせ（インフォメーション）OK 編
- ・クレームへの初期対応：クレームの申し出時（フロント）NG 編
- ・クレームへの初期対応：クレームの申し出時（フロント）OK 編
- ・レストラン応用V HRS実技試験対策 朝食
- ・レストラン応用VI HRS実技試験対策 ランチ

講義編（リレー講義）

- ・Fantagista21 代表 宮崎 辰
- ・株式会社 HUGE コーポレート ソムリエ 石田 博
- ・ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts チーフコンシェルジュ 田中 英司
- ・ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜 総支配人 阿部 泰年
- ・人とホスピタリティ研究所 代表 高野 登
- ・リーガロイヤルホテル 取締役 総支配人 中川 智子
- ・元浦和ロイヤルパインズホテル総支配人 繁治 英志
- ・宿屋大学 代表 近藤 寛和
- ・一社日本ホテル・レストランサービス技能協会 会長 森本 昌憲

【台本イメージ】

VTR 8：宿泊@ホテル館内案内と対応：館内の問い合わせ（インフォメーション）OK編									
CUT	撮影場所	登場人物			小道具	映像		セリフ	
		スタッフA	ゲストA	ゲストB		映像	音声		
⑧-2	6Fホテル実習室 フロントカウンター	○	○	○	車椅子	・インフォメーションはフロントにて待機中 ・フロント待機中に車椅子の方に同行される お挨拶からの問い合わせ	定点		
⑧-3	6Fホテル実習室 フロントカウンター	○	○	○	車椅子	・前を向いてロビー全体を見えており、 車椅子の方にも気づいているインフォメーション ・ゲストがカウンターに来るまでに アイコンタクトと笑顔をするインフォメーション	定点		<インフォメーション> いらっしゃいます。
⑧-4	6Fホテル実習室 フロントカウンター	○	○			・顔を置きながらゆっくり丁寧に説明する インフォメーション ・方向指示の指元を定める	定点 密着後から		<ゲストA> ありません。この階にトイレはありません。 <インフォメーション> はい、ございます。 左手の奥、突き当たりにございまして、 車椅子の方もご利用いただけるバリアフリートイレも ご用意しております。
⑧-5	6Fホテル実習室 フロントカウンター	○	○				定点		<ゲストA> ありがとうございます。 <インフォメーション>

2. 3-マーケティング活動について

京都府観光連盟、京都市などと連携し、地域社会に開かれた合同講座として就職氷河期世代を対象としたプログラムの認知度を高め、受講者を募集した。さらに協力事業所のスキルアッププログラムとしても活用し、企業の人材育成の質的向上にも寄与できるよう広報を行った。受講生募集については、京都府観光連盟のホームページへの掲載など出来るだけ多くの人々の目に触れる取り組みを行った。さらに、令和4年度については「今京都のホスピタリティ業界に求められるリカレント教育とは？」をテーマにゲストを招聘する無料シンポジウム（ウェビナー）も開催し、着実にプロジェクトの認知度を向上させた。

2. 4-シンポジウムの開催について

京都観光復活に寄与する観光人材のための産学連携リスタートプログラム公開シンポジウム

開催日時 2022/10/26（金）18：00～20：00

（開場は17：30～20：30）

会場 QUESTION 4F コミュニティステップス

参加費 無料（要事前申込）

参加人数 会場21名、オンライン12名（Zoom ウェビナーでも配信）

主催 学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校

後援 京都府、京都市

内容 京都観光復活に寄与する観光人材のための産学連携リスタートプログラムを推進すべく、3名のスペシャリストをお招きしリカレント教育の未来について語っていただくシンポジウムを開催した。

次第

開会挨拶	京都ホテル観光ブライダル専門学校 副校長 奥山勉
基調講演	「学び直しの原動力とは」 一般社団法人ぶちでガチ 代表理事 赤坂 美保 氏
パネルディスカッション	「今京都のホスピタリティ業界に求められるリカレント教育とは？」 <パネリスト>（一社）ぶちでガチ 代表理事 赤坂 美保 京都府商工労働観光部 企画調整理事兼副部長 河島 幸一 西武・プリンスホテルズワールドワイド 執行役員 松本 伸夫 <ファシリテーター> 学校法人大和学園 総務・経営DX推進グループ部長 杉山 洋
プログラム紹介	学校法人大和学園 総合企画・グローバル推進グループ モレルトリアン
閉会	

当日の様子：



2. 5ー受講オリエンテーションの実施について

受講をスムーズに進めていくために、1/10（火）18：30～開講前のオリエンテーションを実施した。

【オリエンテーションスケジュール】

- 18：30～18：35 リカレント教育プログラム委員長挨拶
- 18：35～18：45 リカレント教育プログラム内容説明
- 18：45～18：55 学習プラットフォーム説明（GoogleClassroom）
- 18：55～19：15 受講生同士の交流（自己紹介等）

2. 6ーリカレント教育オンラインプログラムの展開について

専修学校と行政、企業が連携し、就職氷河期世代の非正規雇用者等のキャリアアップを目的とした学び直し講座の開発・実証によって、自身のキャリア選択に応じて必要となる学びを、だれもが受けられる機会の充実を目的にプログラムを展開。今回、京観校の職業教育の実績をベースに、企業・大学・行政等の有識者から意見を伺いながら、ホテル観光業界の学び直しを促進すべく

「2022年度リカレント教育プログラム」を構築した。ホテル等への就職を目指す方に向け、必要なスキルやホスピタリティマインドを学ぶプログラムとして、宿泊部門やレストランにおける必要なスキルはもちろん、デジタル化やDX、京都ならではの文化についても学べつプログラムとした。また、24時間いつでも・どこでも学べるオンデマンド授業を中心に、夜間のライブ配信など、忙しい方でも受講できる仕組みづくりを行った。

【養成する人材】

ホテル・旅館の各セクションスタッフとして必要なスキルを持ち合わせた人材

【ディプロマ・ポリシー】

- ・人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにするホスピタリティマインドを身に付けている
- ・ホテル・旅館で必要となる知識と質の高いサービスが提供できる実務的なスキルを網羅的に身に付けている
- ・持続可能な観光業の成長・発展に向けてリスクや変化に対して素早く対応できるスキルを身に付けている
- ・京都観光、京都特有の文化や慣習に関する基礎知識を身に付けている

【カリキュラム】(ステップアップ編 60 時間)

実践京都演習 (10 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都観光振興計画 2025 ・ 宮津市環境戦略 ・ 京都の旅館 ・ 京都を案内する心構え ・ 京都の観光資源 (寺社仏閣、文化・芸術) ・ 京都の観光資源：食 (京料理) ・ 京都の観光資源：食 (京菓子) ・ 京都の観光資源：自然 (茶、山、森) ・ 京都の観光資源：京ことば
ホテル・旅館事例分析 (15 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業界関係者によるリレー講義 ・ ホテルエとのディスカッション ・ 旅館スタッフとのディスカッション ・ 旅館女将とのディスカッション ・ 事業開発担当者とのディスカッション
ホスピタリティ マネジメント演習 (5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホテル業界が求めるリーダーとは
ICT 活用 (10 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今 WEB に求められるマーケティング ・ SNS 映えする写真の撮り方 ・ PR の基本 ・ 情報リテラシー ・ マイクロソフトオフィス
ホテルサービス演習 (10 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊系 (ハウスキーピング、ベッドメイクなど) ・ 料飲系 (テーブルセッティング、ワインの抜栓など)
京都の文化 (5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 華道体験 ・ 茶道体験 ・ 京都太秦 taiwa ミュージアム見学 ・ 和作法体験
英語で京都 (5 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化のゲストに対し臆せず接客レベルの英会話が使える人材になり観光業界で活躍できるコミュニケーション力を身に付ける。特に京都の名所を英語で案内するという事に重点を置く。

【講師陣】(総勢 40 名)

科目名	所属・役職	氏名 (敬称略)
実践京都演習	京都市産業観光局観光M I C E 推進室観光戦略課長	吉岡 久美子
	宮津市役所産業経済部商工観光課観光戦略担当課長	青木 学
	綿善旅館 おかみ	小野 雅世
	京都旅屋代表	吉村 晋弥
	大和学園ホスピタリティ産業振興センター長	仲田 雅博
	京都製菓製パン技術専門学校 和菓子上級科学科長	堀内 鉄也
	一般社団法人京都山城地域振興社 総合企画局長	栗山 晃司
	京ことばの会 副代表	金子 京子

ホテル・旅館 事例分析	Fantagista21 代表 L'Effervescence プルミエールホテル	宮崎 辰
	株式会社 HUGE コーポレート ソムリエ	石田 博
	ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts チーフコンシェルジュ	田中 英司
	ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜 総支配人	阿部 泰年
	人とホスピタリティ研究所 代表	高野 登
	リーガロイヤルホテル 取締役 総支配人	中川 智子
	元浦和ロイヤルパインズホテル総支配人	繁治 英志
	宿屋大学 代表	近藤 寛和
	一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会会長	森本 昌憲
	IHG・ANA・ホテルズグループ ジャパンホテルオペレーションズ HR マネージャー	千々岩 朋子
	神戸ポートピアホテル 事業部 部長	吉備 由佳
	溪山閣 常務	小島 敬司
	炭屋旅館 女将	堀部 寛子
	株式会社 C&G Value Design 執行役員 CDO	挽田 善一
	HOTEL THE MITSUI KYOTO 総支配人	楠井 学
ホスピタリティ マネジメント 演習	エースホテル京都 人事部長	松尾 直子
	デュシタニ京都 総支配人	吉本 展久
	ホテルニューアワジ 総務部 人材開発室 室長	前田 憲司
	ザ・ホテル青龍 京都清水 管理部 ディレクター	押切 紀明
	パークハイアット東京 副総支配人	松村 晋祐
ICT 活用	株式会社ディアライブ プランナー/マーケティング	足立 奏世
	デザインとカメラの教室「torico.camera」主宰	松村 シナ
	Spine. PR プランナー	辻本 哲郎
	SNS マーケティング / Instagram コンサルタント	藤木 園実
	京都ホテル観光ブライダル専門学校非常勤講師	神野 美嘉子
ホテル サービス演習	京都ホテル観光ブライダル専門学校 副校長	奥山 勉
	京都ホテル観光ブライダル専門学校 教員	金子 貴行
京都の文化	桑原専慶流次期家元	桑原 健一郎
	茶道裏千家 准教授、有斐斎弘道館 講座講師	高田 宗真
	京都調理師専門学校 管理部長	畑中 康寛
	株式会社フェイスアップ 講師	福山 由佳
英語で京都	株式会社シーティーエス 講師	高橋 恵美子

【時間割】

京都ホテル観光ブライダル専門学校リカレント教育プログラム（時間割表）2022.12.28現在

	月	火	水	木	金
1月		10	11	12	13
18:30～19:30		オリエンテーション			
19:40～20:40					
1月	16	17	18	19	20
18:30～19:30			ホテル・旅館事例分析 (牧田様)		
19:40～20:40					
1月	23	24	25	26	27
18:30～19:30	英語で京都①	ホテル・旅館事例分析 (千々岩様)		ホテル・旅館事例分析 (堀部様)	英語で京都②
19:40～20:40	ICT活用：SNS活用の基本				
1月/2月	30	31	1	2	3
18:30～19:30	英語で京都③		英語で京都④	ホテル・旅館事例分析 (吉備様)	英語で京都⑤
19:40～20:40	ホテル・旅館事例分析 (小島様)				
2月	6	7	8	9	10
18:30～19:30	京都の文化：和作法① (太秦C)	ホテルサービス演習（料飲）① (河原町C)	ホテルサービス演習（料飲）② (河原町C)	ホテルサービス演習（料飲）④ (河原町C)	京都の文化：茶道 (太秦C)
19:40～20:40	京都の文化：和作法② (太秦C)	ホテルサービス演習（宿泊）① (河原町C)	ホテルサービス演習（料飲）③ (河原町C)	ホテルサービス演習（料飲）⑤ (河原町C)	京都の文化：ミュージアム見学 (太秦C)
2月	13	14	15	16	17
18:30～19:30		ホテルサービス演習（宿泊）② (河原町C)	ホテルサービス演習（宿泊）④ (河原町C)	京都の文化：桑原様 (河原町C)	
19:40～20:40		ホテルサービス演習（宿泊）③ (河原町C)	ホテルサービス演習（宿泊）⑤ (河原町C)		

【Zoomによるライブ配信（後日アーカイブ配信も実施）】 11時間：黄色網掛け

【太秦キャンパス来校による対面授業】 4時間：青色網掛け

【河原町キャンパス来校による対面授業】 11時間：赤色網掛け

【オンデマンド配信】 34時間：随時

【プログラムの様子】



2. 7ー現地説明会の開催について

京都府宮津市、および福知山市内でリカレント教育説明会を開催した。京都ホテル観光ブライダル専門学校のリカレント教育プログラムについて、これまでの取り組みや今年度の取り組み（予定）について紹介し、今年度の受講生募集の強化に努めた。なお、当日の参加は宮津2名、福知山4名であった。

【日時・会場】

7月16日（土）14時～16時	市民交流プラザふくちやま
11月19日（土）14時～16時	宮津市福祉・教育総合プラザ

【当日のスケジュール】

12:30	会場到着、設営など事前準備
13:45	受付開始（参加者は随時参加可能に）
14:00	説明会開始
16:00	説明会終了、片付け、撤収作業
16:20	退館

2. 8－先行事例調査について

観光関連企業の求める職業能力・人材に関するニーズを把握するため、以下の事業所への対面インタビュー調査を実施した。カリキュラム策定、プログラム運営に活かした。以下は今回対象の企業。

	事業所名	都道府県
1	株式会社ホテルニューグランド	神奈川県
2	日本ハイアット株式会社	東京都
3	日本ヒルトン株式会社	東京都
4	共立メンテナンス	東京都
5	東急不動産株式会社	東京都
6	株式会社東京ドームホテル	東京都
7	株式会社ホテルオークラ東京	東京都
8	マンダリン オリエンタル東京	東京都
9	IHG・ANA・ホテルズグループジャパン	東京都
10	日本ホテル株式会社	東京都
11	アマン東京	東京都
12	株式会社阪急阪神ホテルズ	大阪府
13	グランドハイアット福岡	福岡県
14	ホテルウィングインターナショナル博多新幹線口	福岡県
15	株式会社 C&G Value Design	福岡県
16	WITH THE STYLE FUKUOKA	福岡県
17	ホテルニューオータニ九州	福岡県
18	ホテル日航福岡	福岡県
19	J R九州ホテルズ	福岡県
20	株式会社エフ・ジェイ ホテルズ	福岡県
21	ザ・リッツ・カールトン 沖縄	沖縄県
22	ザ・ブセナテラス (The Busena Terrace)	沖縄県
23	ルネッサンス リゾート オキナワ	沖縄県
24	Sheraton Okinawa Sunmarina Resort	沖縄県
25	ハレクラニ沖縄 (Halekulani Okinawa)	沖縄県
26	沖縄逸の彩 温泉リゾートホテル	沖縄県
27	ESTIMATE HOTEL 那覇	沖縄県
28	株式会社かりゆし	沖縄県
29	カフーリゾート	沖縄県

3. 次年度に向けて

昨年度に引き続き、リカレント教育プログラムを開講したが、定員を超える受講生を集めてスタートするなど、多くの成果を創出することができた。全国から受講生が集まったこともあり、対面授業では出席者が少なくなるなど課題も見つかった。ホスピタリティ業界におけるリカレント教育は、時間的制約（例：ホテル旅館は24時間動いていること）を念頭にプログラムの開発など行う必要がある。また、先行事例調査では各社の課題とともに取り組むべき方向性も明確になったと感じる。今後は、これらの取り組みが自走化できるようさらにブラッシュアップしていく所存である。

<成果報告書>

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《学校法人大和学園 京都ホテル観光ブライダル専門学校》が実施した令和4年度「専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト」の成果をとりまとめたものです。